



【資料提供】

令和7年12月10日
 課名 平和推進PT、
 (一社)へいわ創造機構ひろしま(HOPE)
 担当者 山本(平和推進PT)、武島(HOPE)
 内線 2365(平和推進PT)
 直通 082-513-2366(平和推進PT)、
 082-209-1234(HOPE)

被爆・終戦80年～若者達が集い、未来に平和をつなぐプロジェクト～

「被爆80年人材育成特別プログラム」公開発表会

若者が、核兵器の使用がもたらす脅威に警鐘

日時：令和7年12月14日 14:00～15:30 場所：エソール広島研修室1、2(おりづるタワー10階)

広島県とへいわ創造機構ひろしま(HOPE)は、被爆・終戦80年の節目にあたり、広島大学等と連携し、広島にゆかりのある高校生・大学生10名を対象にした、「被爆80年人材育成特別プログラム『2045年の世界一核兵器のない未来のために私たちができること』」を実施しています。

本プログラムの参加者は、専門家からの講義や米国でのフィールドトリップを通じて、核兵器を取り巻く現状の理解や、核兵器廃絶のためにできること等について考察を深め、核兵器が使用された場合のワースト・シナリオやその回避策を検討してきました。

その成果についての公開発表会を、12月14日(日)に、下記のとおり実施します。

本プログラムでの成果について、参加者が発信する姿を是非取材いただければ幸いです。



(9月 米国 フィールドトリップ アイダホ大学でのプログラムの様子)

公開発表会開催概要

【日 時】令和7(2025)年12月14日(日) 14:00～15:30

【場 所】エソール広島 研修室1、2(広島市中区大手町1-2-1 おりづるタワー10階)※オンラインでも参加可能

【テー マ】次の一步は私たちから 核兵器使用の回避にむけた提案

【次 第】

- 1 開会挨拶
- 2 プログラム参加生徒による報告
- 3 県内外のユースとの意見交換
- 4 専門家からの講評
- 5 閉会

【登壇者】

- 1 プログラム参加者 10名
- 2 ファシリテーター 核兵器をなくす日本キャンペーン 浅野 英男氏
- 3 県内外のユース(中国新聞ジュニアライター、グローバル未来塾 in ひろしま卒業生等)

【参加費】無料

【定 員】

対面:60名程度(先着) オンライン:定員なし

参加申込: <https://forms.gle/KhoF9RYAxemBXVm9> ※締切 2025年12月12日(金) 取材申込は別紙によって下さい。

【参 考】

プログラム概要: <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimaforpeace/archive-80th-special-program.html>

公開発表会概要: <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimaforpeace/action-special-program-publicevent1214.html>

Mail:chiheiwa@pref.hiroshima.lg.jp

FAX:082-228-1614

(TEL:082-513-2366)

広島県地域政策局 平和推進プロジェクト・チーム 行

『被爆 80 年人材育成特別プログラム』公開発表会 取材申込書

【日 時】令和7年 12月 14日(日)14:00~15:30

【場 所】エソール広島研修室1、2（おりづるタワー10階）

媒 体 名:

貴 社 名:

取材者氏名:

人 数:

T E L:

F A X:

メールアドレス:

カ メ ラ: 有(ムービー/スチール) 無 (○で囲んでください)

生徒へのインタビュー: 希望する 希望しない (○で囲んでください)

※お手数ですがこちらの返信用紙に必要事項ご記入の上、

令和7年 12月 12日(金)17:15までに送信いただきますようお願い申し上げます。

- 【注 意 点】
- ・飛び込み取材は受けることができませんので、ご注意ください。
 - ・スケジュールは変更になることがあります。
 - ・駐車場の用意はございません。必要に応じて、各自での確保をお願いします。
 - ・参加者への直接の取材については、広島県に事前許可を取った者に限り可能です。また研修の進行に影響を与えるような参加者への直接取材を行うことはご遠慮ください。
 - ・各プログラムの様子を撮影した写真を提供します。ご希望の場合は、平和推進プロジェクト・チームまでお問い合わせください。